

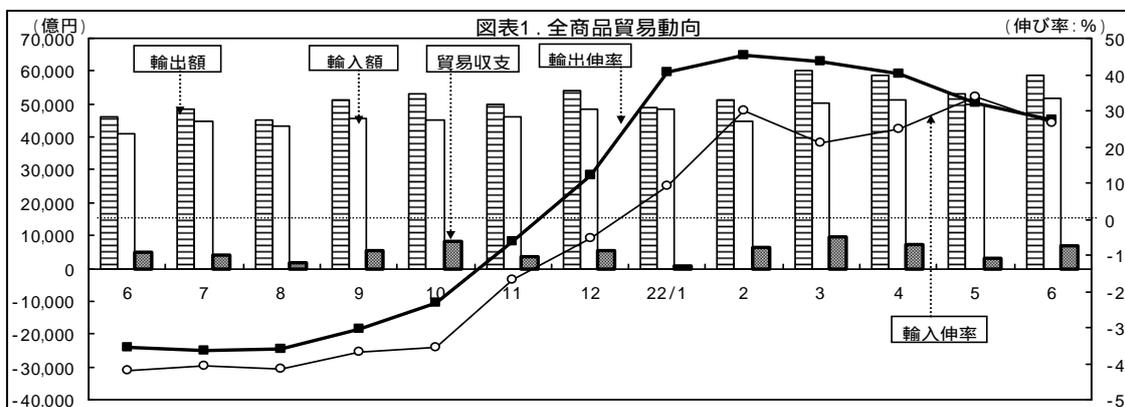
## 最近の機械貿易動向(6月)について～機械輸出の回復速度鈍化～

2010.8.18.

平成22年6月の機械輸出額は、3兆8,719億円、対前年同月比32.7%増と僅かに鈍化した(5月33.9%増)。これはその他地域向けとEU向けが伸び率を低下させたこと、業種では全体の1/3を占める自動車(38.9%増と伸び率を鈍化させたことによる(5月は44.6%増)、7月の機械輸出は、実質伸び率を37%増と仮定すると、円高の高進と営業日が1日少ないことから9.2%の減少要因となり、約28%増程度とさらに鈍化するものと予想される。因みに、7月上中旬の全商品輸出額は22.2%増である。

### 1. 全商品貿易動向～輸出は27.6%増と高水準ながら4ヶ月連続で伸び率減少～

- 平成22年6月の全商品輸出額は5兆8,668億円、前年同月比(以下同じ)27.6%増と高水準ながら4ヶ月連続で伸び率を低下させている。商品別では、全輸出額の19%を占める一般機械(49.5%)及び19%の電気機器(20.4%増)が前月より僅かに拡大させたものの、14%の鉄鋼等原料別製品(35.6%)、23.7%の輸送用機器(33.6%増)は前月より伸び率を減じている。
- 輸入額は5兆1,803億円、26.6%増と前月を下回った。これは、全輸入額の27%を占める鉱物性燃料(37.7%増)、10%の鉄・非鉄金属等原料別製品(45.3%増)、3%の輸送用機器(17%増)といずれも前月と比べ低い伸びとなったためである。
- この結果、6月の貿易収支は、輸出の伸び率が輸入を上回り、35.3%増の6,864億円の黒字となった。

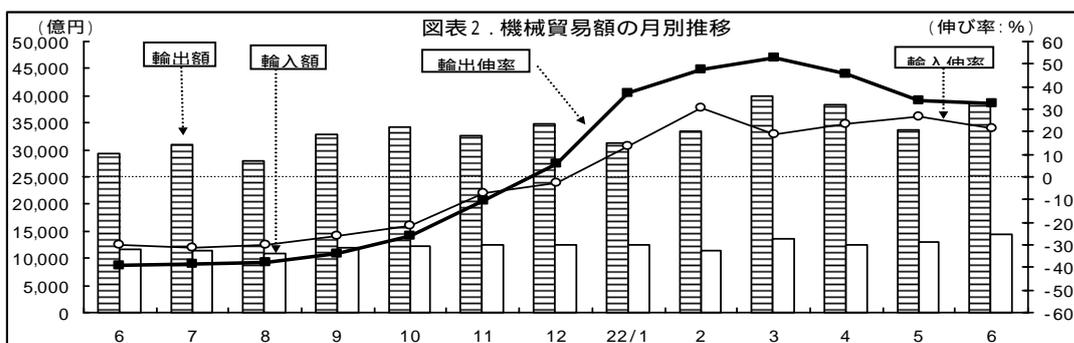


### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～機械輸出32.7%増と3ヶ月連続で伸び率鈍化～

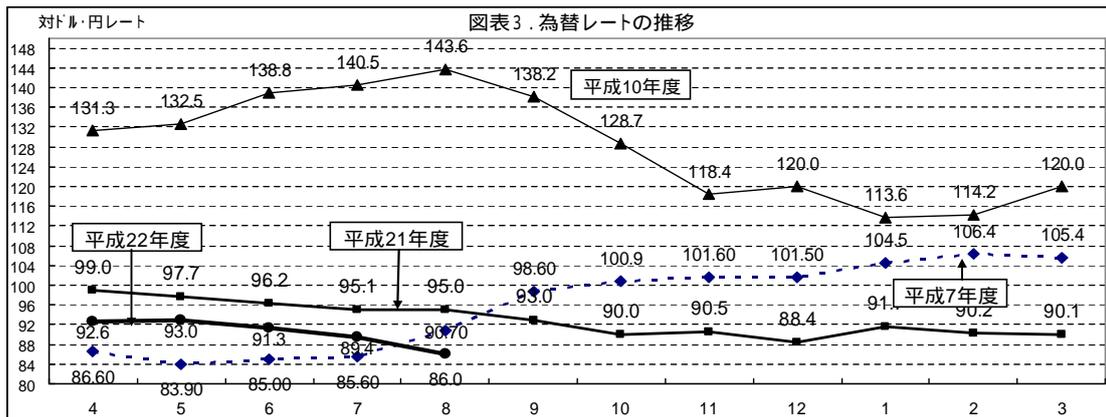
全商品輸出額の66%を占める6月の機械輸出額は3兆8,719億円、32.7%増と3ヶ月連続で伸び率を鈍化させた(5月33.9%増)。この輸出額は、リーマンショック以前の一昨年6月の輸出額に比べ81%の水準である(5月75%)。

一方、全商品輸入額の28%を占める機械輸入額は、1兆4,368億円、21.5%増と回復速度をやや後退させている(5月26.9%増)。輸入額は、一昨年に比べ85%の水準である(5月85%)。



(2) 為替動向・営業日～為替は6月は4.2%、7月は4.7%、8月は6.6%の減少要因～

- ・6月は1ドル = 91.3円と円高が再び強まったため、前年比5.1%の円高となった。対ユーロではユーロ安が強まり16.6%の大幅な円高となった。この結果、円建輸出額では4.2%の減少要因となる。営業日は、前年と同じである。この結果、6月の機械輸出伸び率は32.7%増であったが、実質伸び率は37%増と5月に対し横ばいであった。
- ・7月は1ドル = 89.4円と円高が進み、前年比6%の円高となった。対ユーロでも極端な円高状態が続き16.5%の大幅な円高となった。この結果、円建輸出額では4.7%の減少要因となる。営業日は前年より1日少なく4.5%の減少要因となる。あわせて9.2%の減少要因となる。8月は、対ドルが現状の86円とすれば9.5%の円高、対ユーロが現状の110円とすれば18.5%の円高が進み、為替は円建輸出額の6.6%の減少要因となる。一方、営業日は前年より1日多いので、4.8%の増加要因となる。あわせて1.8%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～EU向け伸び半減、その他地域、中国向けの伸び鈍化、～

- ・6月は伸び率をやや低下させたが、最も大きな伸びとなったのが機械輸出額の21.1%を占めるその他地域向けで、ロシア・東欧(70.6%増)、中近東(61.5%増)、大洋州(60.7%増)、南米(52.9%増)が高い伸びとなり、機種では約半分を占める自動車(85%増)と23%の船舶(23.0%増)が好調だったものの前月を下回る45.1%増の伸びとなった。次に伸びたのが同29.7%を占めるNIES/ASEAN向けで、仕向け国では、インドネシア、タイ、マレーシア、台湾、韓国が、業種では産業機械、自動車、工作機械、建設機械が好調で、45.0%増となった。18%の中国向けは、陸用内燃機関、工作機械、建設機械、船舶、ベアリング、繊維機械が好調であったが、産業機械、自動車の伸びが低下し、35.7%増となった。20%の北米向けは、輸出額の半分を占める自動車・同部品は24.1%増と前月と同水準であったが、半導体製造装置、建設機械、農業機械などが好調で、21.0%増と僅かに上昇した。11%の欧州向けは、建設機械、工作機械、半導体製造装置が伸びたものの、乗用車、デジカメなどが前年比マイナスとなり、6.4%増と伸び率が大きく鈍化した。

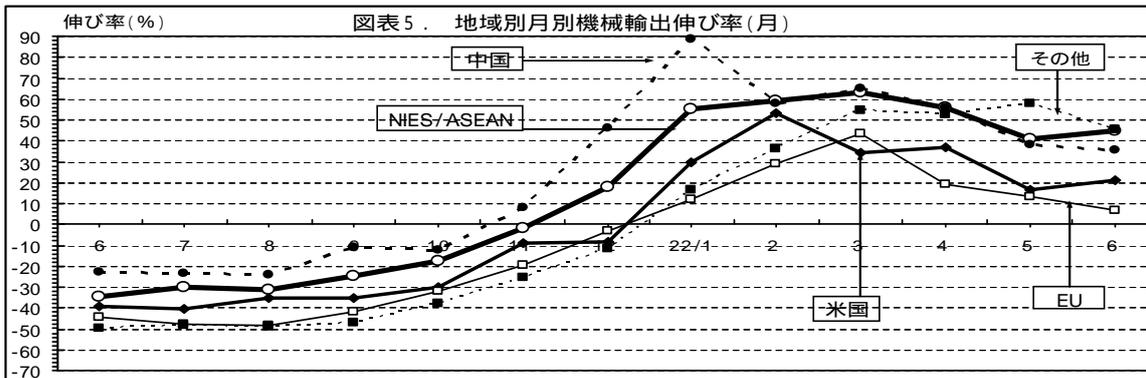
なお、各地域向け輸出額を世界金融危機以前の平成20年6月と比較すると、中国向けが唯一上回り、北米は回復割合を進展させたが、NIES/ASEANは後退し、EU、その他は横這いであった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2010/4			2010/5			2010/6			対08年 6月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	38,319	45.8	100	33,717	33.9	100	38,719	32.7	100	0.81
北米	7,380	37.2	19.3	6,272	16.8	18.6	7,845	21.0	20.3	0.78
EU	4,825	19.5	12.6	4,329	13.0	12.8	4,363	6.4	11.3	0.59
NIES/ASEAN	11,329	55.8	29.6	10,107	40.9	30.0	11,514	45.0	29.7	0.95
中国	6,956	55.8	18.2	6,105	37.9	18.1	6,825	35.8	17.6	1.05
その他	7,830	52.7	20.4	6,903	57.6	20.5	8,172	45.1	21.1	0.69

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2010/3		2010/4		2010/5		2010/6	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,258	65.0	2,129	53.0	1,677	29.0	2,054	44.4
台湾	2,239	59.9	2,195	77.2	1,964	58.8	2,139	47.2
香港	1,959	63.4	1,859	31.0	1,835	26.8	2,056	35.7
タイ	1,443	64.2	1,500	74.1	1,391	55.7	1,632	64.9
シンガポール	1,282	70.6	1,123	26.4	860	13.0	995	25.7
インドネシア	848	148.5	784	140.4	777	83.9	853	80.7
マレーシア	812	15.5	842	53.8	752	46.1	881	49.7
フィリピン	514	78.6	565	69.1	550	58.8	544	25.9
ベトナム	311	43.3	294	38.5	269	18.2	311	28.8
<b>その他地域</b>								
中南米	3,232	37.8	2,564	48.7	2,634	59.7	2,992	35.7
中近東	2,005	69.8	1,372	28.7	1,228	48.2	1,674	61.5
大洋州	1,118	58.1	1,530	82.2	1,157	59.7	1,261	60.7
ロシア東欧等	983	82.1	935	61.2	894	66.6	1,076	70.6
アフリカ	978	68.9	880	37.8	600	55.2	674	15.8
インド	402	34.9	400	22.3	353	55.1	439	61.0

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向 ~ 全 19 業種中 18 業種が二桁の伸び、自動車は引続き鈍化 ~

・業種別では、全 19 業種中 18 業種が前年比プラス、うち 17 業種が二桁以上の成長となった。

全体の約 1/3 を占める自動車が 38.9%増と更に伸び率を鈍化させた(5 月 44.6%増)。高い伸びとなったのが工作機械、建設機械で 2 倍以上、陸用内燃機、繊維機械、産業車両、ベアリング、産業機械は 50%以上の増加となった。

一方、通信機器(16.6%減)が 3 カ月連続マイナスとなり、医療機械も低い伸びが続いている。

・なお、世界経済不況以前の平成 20 年 6 月の輸出額と比較すると、医療機械、船舶、ベアリング、光学機械は 2 年前の水準を超えているが、産業車両はまだ 50%の水準に達していない。

図表7 上位20業種の輸出額の動き (単位: 億円, %)

2010/4				2010/5				2010/6				対08/6 比
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	12,092	79.7	31.6	自動車	10,018	44.6	26.1	自動車	12,537	38.9	32.4	0.75
産業機械	6,816	48.8	17.8	産業機械	6,062	38.7	15.8	産業機械	6,398	41.1	16.5	0.86
電子デバイス	3,634	35.6	9.5	電子デバイス	3,374	25.7	8.8	電子デバイス	3,645	18.6	9.4	0.92
船舶	2,267	19.1	5.9	民生用電子機械	1,972	11.9	5.1	民生用電子機械	2,088	15.8	5.4	0.66
民生用電子機械	2,177	11.9	5.7	軽電気機械	1,954	35.7	5.1	軽電気機械	2,066	31.8	5.3	0.86
軽電気機械	2,110	44.9	5.5	船舶	1,853	40.8	4.8	船舶	2,335	22.2	6.0	1.24
重電気機械	1,793	30.1	4.7	重電気機械	1,714	18.8	4.5	重電気機械	1,904	30.5	4.9	0.88
光学機械	1,279	60.9	3.3	光学機械	1,244	40.7	3.2	光学機械	1,274	36.9	3.3	1.00
軽機械	1,233	44.0	3.2	軽機械	1,088	32.9	2.8	軽機械	1,209	37.7	3.1	0.69
建設機械	980	87.0	2.6	建設機械	848	88.2	2.2	建設機械	1,057	112.8	2.7	0.68
電子計算機	614	4.7	1.6	電子計算機	538	3.2	1.4	電子計算機	653	16.6	1.7	0.68
通信機械	559	27.3	1.5	通信機械	512	17.9	1.3	通信機械	577	16.6	1.5	0.65
工作機械	479	69.9	1.3	工作機械	471	95.9	1.2	工作機械	539	127.0	1.4	0.62
ベアリング	358	84.6	0.9	ベアリング	317	62.3	0.8	ベアリング	372	62.3	1.0	1.03
陸用内燃機関	341	61.0	0.9	陸用内燃機関	304	81.8	0.8	陸用内燃機関	366	99.6	0.9	0.93
医療機械	277	5.4	0.7	医療機械	275	7.5	0.7	医療機械	323	3.0	0.8	1.25
農業機械	176	28.1	0.5	繊維機械	177	100.2	0.5	繊維機械	196	92.1	0.5	0.82
繊維機械	175	147.4	0.5	農業機械	154	18.5	0.4	農業機械	158	55.1	0.4	0.79
産業車両	110	69.8	0.3	産業車両	103	86.1	0.3	産業車両	122	90.1	0.3	0.49
20業種合計	37,470		97.8	20業種合計	32,978		97.8	20業種合計	37,819		97.7	0.81

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD、プリンタ等部品。  
軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～半導体等製造装置、工作機械、産業用ロボット、建設機械が2倍以上増～

・伸び率上位機種は、韓国・台湾、北米、ASEAN、中国向け半導体等製造装置(2.6倍)、全世界向け工作機械(2.3倍)、産業用ロボット(2.3倍)、ASEAN、その他地域向け建設機械(2倍)、中国、ASEAN、北米、韓国・台湾向け陸用内燃機関(2倍)、その他地域向け他世界向け繊維機械(92.1%増)、中国、ASEAN、その他地域向け産業車両(90.1%増)、ASEAN、韓国・台湾中心の電気・電子計測機(88.4%増)、その他地域、ASEAN等全世界向け貨物自動車(88.1%増)、中国、ASEAN他全世界向けバルブ・コック(67.3%増)などである。

一方、最も落込み幅が大きいのが、携帯電話(94.0%減)、エアコン(82.2%減)、発電機(26.9%減)、運搬機械(12.0%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円、前年比伸び率、10機種以内) (単位:億円)

2010/4			2010/5			2010/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体等製造装置	1,545	191.3	半導体等製造装置	1,300	203.3	半導体等製造装置	1,283	159.3
電子応用装置	28	171.3	産業用ロボット	69	122.1	工作機械	539	127.0
産業用ロボット	63	136.1	貨物自動車	587	109.8	産業用ロボット	76	126.3
繊維機械	175	147.4	繊維機械	177	100.2	建設機械	1,057	112.8
貨物自動車	686	112.9	電気・電子計測器	366	97.2	陸用内燃機関	366	99.6
乗用車	6,699	102.4	工作機械	471	95.9	繊維機械	196	92.1
電気・電子計測器	380	92.8	建設機械	848	88.2	産業車両	122	90.1
建設機械	980	87.0	産業車両	103	86.1	電気・電子計測器	405	88.4
ベアリング	358	84.6	陸用内燃機関	304	81.8	貨物自動車	789	88.1
工作機械	479	69.9	ベアリング	317	62.3	バルブ・コック	345	67.3
機種合計	11,393	29.7%	機種合計	4,542	13.5%	機種合計	5,178	13.4%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2010/4			2010/5			2010/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
携帯電話	3	91.2	携帯電話	3	87.2	携帯電話	3	94.0
エアコン	14	74.1	エアコン	13	77.1	エアコン	9	82.2
発電機	120	29.7	発電機	78	61.7	発電機	119	26.9
据置型VTR	10	13.3	運搬機械	174	19.6	写真機	3	13.8
			ラジオ	9	11.1	運搬機械	210	12.0
機種合計	144	0.4%	機種合計	274	0.8%	機種合計	344	0.9%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～6月は21.5%増で伸び率鈍化、携帯電話、TVは高い伸び

・6月の機械輸入額は21.5%増と伸び率はやや鈍化した。その原因は、前年の6月の落込みがやや緩んだこと(30.1%減)こと、航空機が減少したこと(6.5%減)、二大輸入機種の電子デバイス、電子計算機や自動車部品、乗用車の伸び率が鈍化したことによる。一方、TV、携帯電話は高い伸び率が続いている。

なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、白物家電、携帯電話、TV、医療機器、時計、ラジオとなっている。

・地域別機械輸入額は、全体の40%と最大の輸入先の中国(37.7%増)、EU(25.0%増)、ASEAN(24.2%増)、韓国・台湾(14.3%増)、北米(3.7%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2010/4				2010/5				2010/6			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,735	13.5	13.7	電子デバイス	1,865	29.0	14.3	電子デバイス	1,881	11.4	13.1
電子デバイス	1,695	38.8	13.4	電子計算機	1,656	42.8	12.7	電子計算機	1,845	35.6	12.8
重電気機械	622	26.0	4.9	重電気機械	611	34.4	4.7	重電気機械	674	20.8	4.7
自動車部品	579	103.1	4.6	自動車部品	604	67.2	4.6	自動車部品	641	43.8	4.5
白物家電	471	3.2	3.7	白物家電	530	7.4	4.1	白物家電	614	5.9	4.3
乗用車	405	74.7	3.2	乗用車	489	70.2	3.7	乗用車	503	53.5	3.5
医療機器	387	3.3	3.1	民生電子部品	383	29.9	2.9	携帯電話	483	65.0	3.4
TV	373	126.0	3.0	医療機器	373	14.0	2.9	TV	462	91.3	3.2
民生電子部品	351	48.3	2.8	携帯電話	368	62.2	2.8	医療機器	400	0.9	2.8
航空機	304	4.6	2.4	TV	366	106.9	2.8	民生電子部品	371	24.4	2.6
光学機械	291	17.0	2.3	航空機	333	81.6	2.5	航空機	370	6.5	2.6
携帯電話	286	53.4	2.3	光学機械	288	18.3	2.2	光学機械	324	7.7	2.3
12機種合計	7,499		59.4	12機種合計	7,866		60.1	12機種合計	8,568		65.5

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。 白物家電:民生用電気機械